

補助事業番号 19-1-054

補助事業名 平成19年度 野外活動の推進補助事業

補助事業者名 財団法人 日本余暇文化振興会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

昨今、国民の自然環境への関心には大変強いものがある。ことに自然体験活動は我々を日常のストレスから開放し、健康と潤いと安らぎを与えてくれる。

人間らしさと人間本来の知性と野性のバランスのとれた生き方を取り戻すための有効な手段として自然とのふれあいを挙げるができる。このようなことから、北海道国有林の中でのマラソン、ウォーキング、サイクリングなどのスポーツや、森づくり体験ボランティアは森林の達人による講演や交流会を通じて、自然の大切さを認識し、自然に感謝し、環境問題などを考え、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

①森林マラソン（メインイベント）

広大な定山溪国有林の中にある電気バス発着場をスタート、ゴールの主会場とし、豊平峡ダムを折り返し、網の目状に広がる林道も一部使用した。

16km：男女 39歳以下／40歳以上 5km：男女 参加者合計：638名

②森林浴ウォーク&ノルディックウォーキング

森林の恩恵を感じながら健康増進と環境保全の啓蒙を目的とした誰でも参加できる種目。ウォーキングアドバイザーの指導で高校生からシニアまで幅広い世代が参加した。ウォーク5km、ウォーク10km、ノルディックウォーキング10km

参加者合計：141名

③マウンテンバイクツーリング

中山峠付近の2箇所のスタート地点から初級者、上級者に分けて開催したツーリング。全行程約22,5km

参加者合計：35名

参加者①～③総合計：814名

④森づくりボランティア体験 参加者合計：延べ170名

森づくりの専門家の指導により、カミネッコン（苗）を作成した。

⑤健康達人森もり交流会

参加者合計：延べ170名（野外開催分含む）

2. 予想される事業実施効果

地球規模で地球温暖化対策が求められている現在、森林でのスポーツイベントに参加することで、自分達の身近な自然を守り、増やすことが、温暖化対策に繋がるという感想を持った人が多かった。当初の目的を上回る反応を得ることができた。言い換えれば、今後の効果として、自然との共生体験を実感することによる身近な自然環境保全に対する意

識の醸成、また、本事業が定山溪地区地域振興の一翼を担う存在となる。

3. 本事業により作成した印刷物等

「北海道森林スポーツフェスタ2007 in 定山溪」募集パンフレット

「北海道森林スポーツフェスタ2007 in 定山溪」大会プログラム

「北海道森林スポーツフェスタ2007 in 定山溪」実施報告書

「北海道森林スポーツフェスタ2007 in 定山溪」記録ビデオ

4. 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名：財団法人日本余暇文化振興会（ザイダンホウジンニホンヨカブンカシンコウ
カイ）

住 所：101-8641

東京都千代田区神田松永町19-2

代 表 者：理事長 今林 弘（イマバヤシ ヒロシ）

担当部署：事務局（ジムキョク）

担当者名：常務理事 小杉 哲（コスギ サトル）

電話番号：03-5295-2033

F A X：03-5295-2046

E-mail：<mailto:kosugi694558@mb.knt.co.jp>

U R L：<http://www.yokabunka.or.jp/>